

## 1) コミュニケーションボードの目的

これは、投票に来られた方からの質問や依頼をイラストでまとめたものです。発声が困難であっても、指さしでコミュニケーションをとることができます。

## 2) 掲示場所

二ーズのある人がすぐ気付くよう、受付の机上や受付近くの壁に掲示してください。

## 3) 使い方

ボードを利用しそうな方が来られたら、次のように行動してください。

- ① 筆談用の紙とペンを用意してから、視線を合わせつつ、ゆっくり話しかけてください。
- ② 分からないようだったら、該当しそうな欄を示して「これですか？」と聞いてください。（聞こえなくても、口の動きが参考になりますので、声を出してください）
- ③ 利用者が指さしをしたら、質問や依頼を復唱して確認してください。

発音が不明瞭な方から質問された時も同様に、ボードの該当欄を示し、視線を合わせつつ、ゆっくり確認してください。

- ④ 胸を手のひらで軽くたたく仕草は「分かった」という意味の手話です。頷くだけの人もあります。

## 4) 筆談をするときの注意点

- ① 文章は、短文の「ですます調」で書いてください。
- ② 書き終わったら、書いた内容を身振りを交えながら声を出して読んで伝えてください。

## 5) その他

日本語と手話の違いから、誤解してしまうことがあります。その後も様子を観察しててください。